

各常任委員会を12月10、11日の2日間開催し、提案されている議案等の内容、各課所管業務の進捗状況について、関係各課長等から説明を受けました。

各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

【総務経済常任委員会】

◎総務課所管

Q 役場に「総合窓口」を置いてはどうか。
また、清掃はどうするののか。

A 総合窓口は置かず今の体制でやっていく。日々の清掃は各課割当て実施し、年に1、2回は業者に委託する事を考えている。

Q 新庁舎について、使い勝手が悪い部分等あれば見直すべき。
A 庁内でも意見が出ており、今後検討します。



△新庁舎の利便性は

◎住民課所管

Q 除染土壌等のパイロット輸送が終了したが、仮置き場の再利用はできないのか。
また、水質検査は28年度も継続すべきではないか。

A 県に形質変更届を提出して最終処分場を仮置き場としていた。今後は元の処分場に戻す事になり、再利用は難しい。水質検査は今後も実施したい。

Q 医療給付費不足により国保基金を取り崩した結果、基金が0円になってしまった。広域化まで3年あるのか、その間どうするのか。
A 医療費の上昇による共同事業交付金の増

加と国庫負担金の増加も見込まれる。保険税は、決算剰余金の状況にもよるが、不足分は保険税で賄うのが基本。しかし特別な事情でもあり、一般会計からの繰り入れも検討しつつ、大幅な上昇にならないよう努力し、30年度の県移行まで持ちこたえたい。

◎健康福祉課所管

Q 本村の人工透析患者数は、人口比率から言って多いか少ないか。

A 人口の割合から言えば多い方。原因は糖尿病からと考える。尿病からと考える。肝炎と糖尿病の関係もある。肝炎治療前に糖尿病にならないよう声掛けしている。

◎産業課所管

Q J A 平田営農センターを訪問した際、「インゲン生産者が高齢化しており、生産が伸び悩んでいるので

育苗代の補助を考えて欲しい」と要望があった。村で取り組みないか。

A 生産者は減少しているが、インゲンは市場での引き合いも多く、高級野菜と認知されている。生産維持のため、J A と普及所で収穫量を増やすための実証実験を行った結果、1割増の効果が見られた。

これにより、J A からかん水チューブの購入補助と育苗代の助成の相談があった。来年度予算に向けて説明資料の作成、提出を依頼している。

Q ジュピアランドひらの試験栽培用鉄骨ハウスは、いずれは農家にメリットのある事業になるのか。

A 現在花卉野菜などの越冬栽培の試験中。効果が実証できれば、ハウス及びストープの助成を考える。ゆくゆくは直売所やジ

ュピアランドひらた内で苗木等として販売する事を考えている。

◎地域整備課所管

Q 逆水論田線の説明会について。

A 年明けに3回目を実施して、結論を出したい。

Q 除雪する際は退避所も除雪してほしい。
また、除雪後気温が上昇した際、わだち等除去のため再度除雪してほしい。

A できるだけ対応したいが、時間短縮という課題もあり難しい。わだち等の除去は昨年同様実施しており、今年も同様の対応をする。



△1月中旬の降雪の様子

Q 統合中学校開校に合わせ、村道大柿打違内線の改良計画はあるのか。

A 28年度当初予算で予算要求したい。

◎教育課所管

Q 統合中学校仮校舎（蓬田中）の清掃委託料が50万円と安いが、どの程度の清掃なのか。

A 新たに使用する空き教室（2教室）分の費用。必要最小限の清掃になる。

【文教厚生常任委員会】

◎総務課所管

Q 新庁舎の駐車場、停められる台数は。

A 220〜240台の駐車が可能。

Q 個人番号通知が届いているが、必ず手続きしなければならぬのか。また、手続きをした村民は何か。

A 必ずではない。手続きは機構に直接するので、人数はわから

ない。

◎税務課所管

Q 住民税の特別徴収を事業所にやらせる目的は。

A 法律では、所得税の源泉をしていれば住民税も特別徴収しなければならぬ事になっている。普通徴収は年4回で1回の負担が大きく、納付する手間もかかる。特別徴収ならば年12回になり、負担が少なく、給与天引きなど利便性もある。

◎住民課所管

Q 新薬を使ったC型肝炎治療者で、副作用により治療をやめた人はいるのか。

A 現時点ではいせん。Q 今も新薬による治療の申請者がいるのか。

A いま。10、12月が医療費上昇のピークになると思われる。

Q 夜警巡回時、積載車から消防団の音が聞こえない。マイクを使い声を出して巡回

を。

A 呼びかけはしているが、更に注意する。

Q 仮置き場について、パイロット輸送終了後の放射線量を測定し、住民に知らせてはどうか。

A 地元の方に測定を依頼し、集会等で公表した経過がある。今後広報などでお知らせしたい。

◎産業課所管

Q 道の駅の販売額の内訳は、外商が多くを占めると聞く。直売所の本来の目的は、農業生産者の所得を増やす事のはず。対策を執るべき。

A 直売組合が生産母体であり勉強会などを開いているが、多品目生産であるため品薄感否めない。

Q 商工会から街路灯の補助金が2年で打ち切りになったと聞いている。今後補助金交付の予定はないのか。

A 国の補助金を使い、2年間で整備してきた事業に、村が一部補助してきた。来年度の当初予算で百万円の要望があるが、商工会役員から村長への陳情時に内容説明をしてもらう。

Q オートキャンプ場跡地の鉄骨ハウスを利用して、村はどのような野菜を推進していくのか。

A 現在パイプハウス4棟、鉄骨ハウス1棟を建て、秋冬野菜を栽培している。越冬野菜はどうなのか、実証試験中。

【要望】効果のある試験栽培を行い、やる気のある農家に対して、適切な栽培指導をお願いする。



△どのような野菜を推進するのか

る農家に対して、適切な栽培指導をお願いする。

◎地域整備課所管

Q 上蓬田浄化センターの臭気について苦情が出ている。浄化しているのに臭気が出る原因は。

A 臭気対策は行っているが、1日2回の排出作業時に出てしまうようだ。今後調査検討する。

Q 逆水論田線は2路線を同時にできないのか。

A 2路線を同時に進めることはできません。

【要望】地域活性化の意見も出ているが、商店街の存続、後継者の問題も考慮し判断して欲しい。

Q 過疎代行事業に該当しなくても、この事業はどちらかを進めるのか。村の姿勢を聞かせてほしい。

A 過疎代行事業は前知事時から要望しており、県でも現地視察を進めている。また工区を分け、県と同時に村も工事を行い、期間短縮を考えている。

Q 物件補償や用地取得も県が行うのか。

A 測量設計、物件補償、用地買収は村が行う事になっている。これは交付金事業で対応する。

◎教育課所管

Q 市町村対抗大会に出場している野球やソフトボールへの補助金が、他町村と比べ少ない。宿泊代は選手が実費負担している現状。若者定住に結びつくよう、予算化できないか。

A ソフトボールに4万円、野球に5万円を補助しており、このほか、体育協会・村長からの激励金がある。他町村と比較しても飛び抜けて低いわけではない。参加費負担と道具購入は

公民館で行い、移動は公用車を利用するなど選手の負担軽減に努めている。

【要望】

こども園を視察し、改めて施設が老朽化している現状を確認した。統合中学校建設が一段落してから対応を考えるとの説明だが、きちんと計画を立てたうえで改修や改築にあたってほしい。



△施設や遊具の老朽化がみられるこども園